

広げよう福祉の輪！

三徳だより

第114号 2025年（令和7年）春・夏号

発行：社会福祉法人 三徳会
<https://www.santokukai.com/>



戸越台ホーム
屋上庭園散策



特別養護老人ホーム 成幸ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0053 品川区中延1-8-7 TEL.(代)03-3787-3616 FAX.03-3783-6580 santoku-seikou@ap.wakwak.com

品川区立戸越台特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0041 品川区戸越1-15-23 TEL.(代)03-5750-1054 FAX.03-5750-1055 santokukai.togoshi-h@proof.ocn.ne.jp

品川区立荏原特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
障害者計画相談支援事業所
〒142-0063 品川区荏原2-9-6 TEL.(代)03-5750-2941 FAX.03-5750-3695
小山台在宅介護支援センター
〒142-0061 品川区小山台1-4-1 TEL.(代)03-5794-8511 FAX.03-5794-8512

品川区立平塚橋特別養護老人ホーム・ショートステイ・高齢者多世代交流支援施設「平塚橋ゆうゆうプラザ」
〒142-0054 品川区西中延1-2-8 TEL.(代)03-5750-3632 FAX.03-5750-3642 hirataka-ow01@santokukai.com

品川区立小山在宅サービスセンター「小山の家」
〒142-0062 品川区小山7-14-18 TEL.(代)03-5749-7251 FAX.03-5749-7252
小山在宅介護支援センター TEL.(代)03-5749-7288 FAX.03-5498-0646



ここにあるのは
幸せと笑顔を運ぶ花

花でつながる 人とまちのコミュニティ



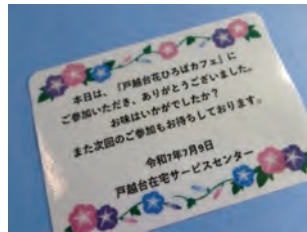
ようこそ「戸越台花ひろばカフェ」へ

令和7年7月9日

今年もデイサービスの恒例となった「花ひろばカフェ」を開催しました。このカフェはゆったりとくつろげる雰囲気の中で、ご利用者のみなさんに会話を楽しんでいただきたと始めました。心地よいクラシックのBGMが流れるなか、エプロンを身につけた職員はいつになくエレガントな立居振る舞いで、注文を受けて一人ひとりにサービスをする姿はまさにカフェの雰囲気です。

そしてカフェの演出に忘れてはならないのが、窓越しの花々です。8階という高層階から眺める景色と、競い合うように咲き誇る花々のコントラストが素晴らしく、はれはれとした気持ちになります。花は人々の心を明るくし、眺めていると心が落ち着きます。

戸越台ホームにいらしたら、8階の花ひろばと屋上庭園からの景色をぜひ楽しんでください。



花を飾りましょう 「橙プロジェクト」 戸越台ホーム

秋の認知症月間に合わせて「キバナコスモス」の種をまきました。認知症の方々への理解を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、今年は施設の玄関で花を育てる橙プロジェクトを実施します。また、商店街のなかにある施設という立地を生かし、地域のお役に立てる活動を計画しています。

これからも地域のご支援、ご協力をいただきながら、人とまちのコミュニティづくりの一助になれるように頑張ります！

花が咲いたら施設玄関前のベンチ付近に飾ります。ぜひ見に来てください。



熱戦！応援の聲がにぎやかに eスポーツ交流会

平塚橋ゆうゆうプラザで「第4回eスポーツ交流会」を開催しました。今回の競技はご存知「太鼓の達人」と「ボウリング」です。東中延児童センターの児童5人とゆうゆうプラザで利用者4人の選手たちが、仲間の応援を受けながら楽しみました。

「太鼓の達人」は夏まつりの雰囲気です。「ドラえもん音頭」やとなりのトトロの「さんぽ」などを演奏しました。ペアになった児童がご利用者にゲーム機の操作を教えたり、ボウリングではスペアやストライクで盛り上がり、世代を超えた交流が生まれていました。ご利用者からは「とっても楽しかった」、児童からは「またやりたい!」「もっとやりたい!」と声があがりました。

次回は冬を予定しています。楽しみですね！



全力投球！運動会

5月24日、戸越台中学校の運動会にご利用者と見学に行ってきました。運動会の当日は少し肌寒い陽気でしたが、リレーが始まるとそれを吹き飛ばすかのような熱い声援が飛び交いました。「赤がんばれ!青がんばれ!」と、こぶしを握り、身を乗り出して応援するご利用者もいらっしゃいました。



介護予防事業 「身近でトレーニング」

戸越台デイサービスでは、タオルなどの身近なものを使って自宅でもバランス機能等をアップできる運動教室を実施しています。この事業は週1回（2時間程度）の参加で6か月がワンクールです。無理なく体力づくりができるトレーニングとして好評です。



10月より水・土曜日の2コースが開始されます

新しい仲間とともに

令和7年度 三徳会新人職員研修

令和7年5月17日(土)・5月24日(土)
会場 平塚橋ゆうゆうプラザ



今年度も2日にわたり新人研修を行いました。研修プログラムは法人理念や事業内容を始め、福祉職が必須とする人権・倫理・法令遵守の知識に加え、主に介護職員を対象とした医療、訓練、栄養の実践的な研修です。特に研修生の注目を浴びたのは施設の管理栄養士による研修でした。講義に続き、とろみ剤を使用した飲料や栄養補助食品の試食などを体験し、研修生からは「ソフト食は、食材や献立を説明して介助をするとご利用者も興味を示し、味わってくれますね」という感想が聞こえてきました。

2日目になると研修生のみなさんの気持ちもほぐれ、会話も弾み施設を越えた交流が生まれました。最後のまとめでは、一人ひとりで今後の抱負を発表してもらい、研修生のみなさんの頼もしく熱い志を感じました。



資格取得支援プログラム

三徳会は現在、30名の外国人介護職員が働いています。このたび外国人介護職員を対象とした研修を始めました。研修はキャリアに応じた3つのコースがあり、来日間もない職員は日本語能力試験(N3)の過去問題や、介護で使う用語の習得を中心に学びます。

介護福祉士の受験対策研修を受講した職員からは「みなさんから勉強方法を聞けてよかったです」という声がありました。講習会は毎月実施していきます。



介護を学び専門職を目指すみなさんを応援します

就職説明会に参加しました



6月12日、品川介護福祉専門学校の就職説明会に参加しました。最初に三徳会を知っていただくために施設紹介のビデオを流し、オンライン動画を活用した動画研修、独自の「スキルアップシート」を活用した人材育成の説明をしました。今年度入職した卒業生からは、三徳会に就職を決めたきっかけや、仕事の内容ややりがいを感じたこと、就職前にやっておくこと等のアドバイスがあり、学生のみなさんは真剣に聞いていました。

学生さんからは希望する施設で働けるか、勤務シフトや福利厚生など働きやすさや職場の環境についての質問も寄せられました。

介護福祉士を目指し頑張っています！

高 暁軍さん
成幸ホーム



高さんは現在、成幸ホームで働きながら専門学校に通う中国出身の留学生です。間もなく始まる実習を前に、日々、介護福祉士の試験勉強をしています。働き始めた頃は、認知症の方の対応が難しいと感じましたが、一人ひとりに合ったケアを学んでいくことを大切にしているとのこと。

勉強と仕事の両立についてと聞くと「学校にはモンゴルやネパール出身留学生もいるので、仲間と一緒に頑張ろうという気持ちがわいてきます」との返事がありました。来年1月の介護福祉士試験については「試験問題は読み方がわからなくても漢字なら意味がわかります。あと数回、模試を受けて頑張ります!」と笑顔が見られました。

情報公開について

三徳会では、地域の皆様方および関係する方々に三徳会に対するご理解と協力をいただくため、令和6年度の決算の概要を公開いたします。

紙面の関係からお知らせする内容は、概要のみとなっておりますが、詳しくお知りになりたい方は各施設の窓口にお申し出ください。

令和6年度決算の概要（令和7年3月31日現在）

① 貸借対照表 (単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,146,169	流 動 負 債	235,873
固 定 資 産	2,090,141	固 定 負 債	207,950
		負 債 の 部 合 計	443,823
		純 資 産 の 部	
		基 本 金	473,161
		国庫補助金等特別積立金	94,472
		そ の 他 積 立 金	1,057,014
		次期繰越活動収支差額	1,167,838
		純 資 産 の 部 合 計	2,792,487
資 産 の 部 合 計	3,236,310	負 債・純 資 産 の 部 合 計	3,236,310



② 財産目録 (単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産 合 計	1,146,169	流 動 負 債 合 計	235,873
基 本 財 産	683,919	固 定 負 債 合 計	207,950
そ の 他 の 固 定 資 産	1,406,221		
資 産 合 計	3,236,310	負 債 合 計	443,823
		差 引 純 資 産 合 計	2,792,487

③ 事業活動計算書（社会福祉事業区分） (単位：千円)

科 目	本 部	成 幸	戸 越 台	荏 原	平 塚 橋	合 計
サ ー ビ ス 活 動 収 益 計	8,518	5507,791	664,503	980,383	594,183	2,755,377
サ ー ビ ス 活 動 費 用 計	21,512	571,864	673,345	1,020,354	634,792	2,921,867
サ ー ビ ス 活 動 増 減 差 額	△12,994	△64,073	△8,843	△39,972	△40,609	△166,490
サ ー ビ ス 活 動 外 収 益 計	429	2,752	2,535	3,610	1,848	11,173
サ ー ビ ス 活 動 外 費 用 計	5,776	1,495	1,446	1,975	1,020	11,711
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 差 額	△5,348	1,258	1,089	1,635	828	△538
経 常 増 減 差 額	△18,342	△62,816	△7,753	△38,337	△39,781	△167,028
特 別 収 益 計	0	7,265	2,447	20	19,857	29,589
特 別 費 用 計	22	6,986	61	1,268	19,607	27,944
特 別 増 減 差 額	△22	279	2,386	△1,248	250	1,645
当 期 活 動 増 減 差 額	△18,364	△62,537	△5,367	△39,585	△39,531	△165,383
前 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	51,342	490,560	220,954	322,031	187,914	1,272,801
当 期 末 繰 越 活 動 増 減 差 額	32,979	428,024	215,587	282,446	148,383	1,107,418
そ の 他 の 積 立 金 取 崩 額	0	0	0	0	5,448	5,448
そ の 他 の 積 立 金 積 立 額	0	0	0	0	0	0
次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	32,979	428,024	215,587	282,446	153,831	1,112,866

1. 三徳会では、法人が実施している社会福祉事業の財政状態、事業活動の成果及び収支の区分を報告するため、社会福祉事業区分を設定し、法人本部、成幸、戸越台、荏原、平塚橋の5拠点区分に分類しています。
2. 千円未満を四捨五入してる関係で縦、横の合計が一致しないものがあります。

令和7年度～9年度 中期経営計画の実践を開始しました



三徳会は令和3年度に「人材確保」「利用者満足度」「業務改善」の3つのプロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトは職員が主体となり協議や検討を重ね、多岐にわたる課題に取り組めました。

令和7年度は、プロジェクトの成果を今後の経営目標の土台とし、「中期経営計画」を策定しました。



主な中期経営計画

＜法人運営の適正化＞	＜法人の魅力度アップ＞	＜成幸ホームの維持管理＞
収益増を図り、安定した運営を目指す。正規職員の採用と外国人人材の雇用と育成等を図ります。事務処理の効率化やコストの分析を実施します。	働きやすい職場づくりを構築し、地域貢献活動や法人のPRを強化した取組みを実践します。	大規模改修工事を見据えた計画と維持管理をします。

課題項目	令和7年度取組み
収益増への取組	＜特養入所調整の期間短縮＞ 入所進行表を作成して状況を把握します。 ＜デイサービスのプログラム内容検討＞ 利用者アンケートを実施し、ニーズを把握します。 ＜支援センター業務の平準化＞ 一人あたりの担当件数を維持します。 ＜各サービス共通＞ 加算の算定要件を確認し、未取得の加算算定をします。
人事管理	＜職員採用形態の整理＞ 採用形態を整理し、費用対効果を分析します。 ＜外国人人材の育成と定着＞ 資格取得支援研修プログラムを実践します。 ＜研修計画＞ 研修体系を整備します。
業務効率化	＜業務の標準化＞ 目で見ても業務の流れがわかる業務フローチャートを作成します。 ＜電子化＞ 勤怠管理を、ソフトを使って電子で処理できるよう検討を進めます。 ＜コスト削減等＞ 物品情報の各拠点間で共有し、コストを抑えた同等商品の購入を検討します。
災害・感染症対策	＜災害対策、感染症対策、BCP＞ 拠点ごとに訓練実施やBCPの確認および改訂を行います。
働きやすい職場づくり	＜ユニフォームの検討＞ 職員からの要望に応え、新しい制服を導入します。 ＜ストレスチェックの実施＞ ストレスチェックの継続と受検の勧奨、ストレスマネジメントに関する研修に参加します。
コンプライアンスの強化	＜ハラスメント窓口の継続＞ ハラスメント窓口に関する掲示状況の確認や相談窓口の明確化を図ります。
地域貢献	＜地域交流を主とした取組＞ 多世代にわたる交流や楽しみながら参加できるイベントに参加するほか、法人が主体となる地域貢献活動を行います。 ＜オレンジプロジェクトの充実＞ 認知症の啓発活動としてシンボルカラーの花の栽培をします。
法人アピール戦略	＜ホームページ、Instagramの活用促進＞ 親しみやすくわかりやすい内容のSNSを活用してPRの充実を図ります。特養ホームの入所説明会や相談会を実施します。
大規模改修工事を見据えた維持管理	大規模改修に先駆けてLED工事を実施します。(成幸ホーム)

笑顔で、みんなで！ 「三徳会元気クッキング」 (地域貢献活動)

三徳会の料理教室は昭和63年から始まりました。当時は「高齢者と介護者のための料理教室」として、健康的な食生活や生活習慣病予防の一端を担い、地域の高齢者の健康維持や気軽に相談できる場所として貢献したいと生まれた事業です。

レシピは施設の管理栄養士が発案し、家庭の味をモットーに特別な食材を使わず手軽にできる献立づくりをしてきました。介護食がまだ一般的でなかった頃から、高齢者であるご本人も安心して食事が摂れ、介護する側も負担にならないよう工夫を重ねてきました。

そして今、料理教室は楽しみながら幅広い世代が「ひとりで」、「親子で」、「仲間と」参加できるよう「三徳会元気クッキング」に変更しました。初めての方でも、料理が苦手という方もお気軽に参加をお待ちしています。

今年度の「元気クッキング」は令和7年11月と8年2月に開催します。ご案内は施設で掲示するほか、「広報しながわ」にも掲載します。



「誰かのために作ってみよう！」

令和7年6月14日(土)
会場 平塚橋ゆうゆうプラザ



第166回を迎えた料理教室は親子で楽しく作りました。メニューはケーキ風にアレンジしたオムレツ、今話題の握らないおにぎり「おにぎらず」、フルーツの茶巾絞りとお手製ドリンクでした。

子どもたちはお母さんの手ほどきを受けたり、自由にアレンジして、見た目も楽しい料理を作りあげました。真剣な面持ちで包丁を握る子どもが切ったカラフルな「おにぎらず」を見て「上手にできたね。すごい！」というお母さんの声も聞こえてきました。

荏原地区の顔

戸越銀座商店街

三徳会の4施設は品川区の荏原地区にあります。この荏原地区で有名なのは言わずと知れた「戸越銀座商店街」です。銀座の名称を始めてつけた全国的にも有名な商店街は、成幸、戸越台、荏原、平塚橋の各施設から徒歩圏内にあり、ご利用者やご家族の散歩コースにもなっています。

これから秋に向かい祭禮やイベントが盛んになる季節です。そんな活気のある町のなかで、三徳会はこれからも地域の一員として、多世代にわたる交流を深めながら、さらなる地域貢献を進めてまいります。



阿波踊りを披露
(戸越銀座フェスタより)



ご挨拶

4月より新たな施設長が就任しました。
どうぞよろしくお願いします。



右 新庄 正 成幸ホーム施設長
左 宮崎憲嗣 平塚橋ホーム施設長
中央 戸越銀次郎(ギンちゃん)

成幸ホーム

十人十色の願い



今年も寄付でいただいた笹が届き、利用者のみなさまが願いごとを短冊にしたためました。それぞれの思いがこもったたくさんの短冊が集まり、ご利用者の代表お二人の方に4階フロアの飾りつけをお願いしました。「昔は子どもと一緒に飾ったのよ」と当時を思い出し懐かしそうです。「みんなが元気でいられますように」と書かれた短冊を見て、「自分のことより他の人のことを書くなんて立派な方ね」と、感激した様子で丁寧に笹の葉に飾りを結びつけていました。

互いに飾りの位置を相談しながら行うお二人のやり取りには、穏やかで優しい雰囲気が感じられ、季節の行事を大切にしている思いが伝わってきました。

成幸ホームではみなさまに四季を感じていただけるよう、これからも季節の行事を行ってまいります。

荏原ホーム

もしもに備えるAED訓練



6月17日、荏原消防署のご協力のもと自衛消防訓練を行いました。AEDを使用した救命救護訓練では、高齢者施設の職員としてだけでなく、一市民として急変して意識を失っている人と遭遇した想定のもと、救助方法を学びました。

救命はひとりで行おうとせず、周りに手を貸してくれる人を探し、一人ひとりに対して「あなたはAEDを持ってきてください」、「あなたは救急車を呼んでください」と役割を明確にすることが必要であり『この救助訓練を受けた人たちにその担い手となって欲しい』との話がありました。いつか来るかもしれないその時のために、定期的に訓練しておくことが誰かの大切な命を救うことにつながるのだとその重要性を再確認しました。

戸越台ホーム

ホームの名所でティータイム



5月29日「梅雨が来る前に屋上庭園に行きましょう」と午後のひとときに外気浴を行いました。屋上のウッドデッキの先には芝生が広がり、テラコッタのうさぎやカエルがお出迎え。うさぎの傍には寄り添うように可憐な白い花が咲いていました。池を眺めるとメダカが泳いでいるのにビックリ！「こんなところにメダカがいたのね」、「あれは何ていうお花？」など、話が弾みました。

今回はコーヒー、紅茶の他に、お好きな味を楽しめるようジュースも用意しました。飲み物を選んだ後には、シャボン玉を飛ばしてみました。液に浸したスティックを振ると、あら不思議。大小のシャボン玉が次々と風に乗っていきます。キラキラしたシャボン玉を見ていたご利用者から「外の空気を浴びていい気分転換になりました」という声が聞こえてきました。

今回はコーヒー、紅茶の他に、お好きな味を楽しめるようジュースも用意しました。飲み物を選んだ後には、シャボン玉を飛ばしてみました。液に浸したスティックを振ると、あら不思議。大小のシャボン玉が次々と風に乗っていきます。キラキラしたシャボン玉を見ていたご利用者から「外の空気を浴びていい気分転換になりました」という声が聞こえてきました。

平塚橋ホーム

夏はやっぱりこれですね



「今日は素麺が食べたいね!」とご利用者のリクエストに応え、夏の風物詩「素麺チャンプルー」をつくりました。普段の食事は厨房から届けられますが、今日は職員の腕の見せどころ。ご利用者の目の前で手際よく素麺と野菜を炒めると美味しそうな香りが漂ってきました。職員が愛情込めてチャンプルー（混ぜる）すると、みなさんから「食べるのが楽しみね」、「美味しいのができるわね」という声が聞かれました。



そうこうしているうちに「はい、でき上がり!」。できたての素麺チャンプルーを食べると「とても美味しい」、「素麺は久しぶりよ」などの感想があり大好評。「素麺に合うのはこれ!」とビールを嗜む方もいて、笑顔あふれる和やかな時間となりました。



変わりゆく景色に期待が高まります

着々と進む大規模改修工事 (前編)

荏原複合施設は平成9年5月の開設から25年以上が経過し、建物設備の老朽化が進んだため、現在大規模改修工事を進めています。工事は令和5年8月から始まり、竣工は令和8年4月を予定しています。

今回の工事は、利用されているみなさまの安全を確保しながら事業を継続運営していく『居ながら工事』となっています。STEP 1～STEP 4の4工程に分かれて順調に進み、現時点で約7割が完成しました。みなさまにもご協力いただき、厨房や浴室もきれいに更新されました。

STEP 3が完了する9月には、仮設事業所で運営していた在宅サービスセンターとショートステイが戻ってきます。最後の工程では、エレベーターや機械室など重要な箇所の更新が行われます。そして、きれいに張替えが行われた中庭のタイルの中央には、シンボルツリーが新しく植樹されます。何が植樹されるのか、乞うご期待ください。



(左) 設備機器の搬入

交通規制を行い、設備機器をクレーンで吊り上げ屋上に設置しました。

(右) 中庭花壇施工中

ツリーを植える花壇はRC打ち放し、ツリーは竣工時の楽しみです。

STEP 3

令和7年2月～9月

【主な改修工事】

3～4階	各居室・浴室・トイレ
1階	食堂・デイサービス・ロビー
外構工事	中庭



竣工：厨房

衛生面に配慮した調理器具の配置で美味しい食事を提供します。



竣工：1階介助浴室

手すりの設置や滑りにくい床材を採用、入浴のしやすさと安全面を考慮しています。

職員リレーエッセイ



荏原ホーム

ANGERA LIVIA
SAMPILANG

アンジェラ リフィア
サムピラン

時間がたつのは早い

日本とインドネシア政府の協力により実施されるインドネシア労働者派遣（EPA）のプログラムに参加し、仕事をしながら日本語を勉強して、2023年に介護福祉士に合格しました。その後は看護師として必要なライセンスを取るために、日本で働きながらインドネシア看護師大学で通信教育とスクーリングで学び、能力試験を受け、予定通りに卒業しました。

昨日、日本に来たような気がします。今年で8年、荏原ホームに勤めて4年目になります。当初は日本での生活にとっても緊張しましたが、今では日本の生活に慣れてきました。非常に遠い山の中の田舎での仕事から始まり、今は便利な品川区の街に住んでいます。

以前は日本で働くことにためらいがありました。もしそれができなかったらどうしよう？ 失敗したらどうしようと。インドネシアで働き、キャリアを築いたほうがいいのかと思っていました。しかし、日本に来て新しい人々と出会い、日本語を学び、日本の生活や文化に触れていくうちに、時間を大切にする規律、自立した生活や自分自身で責任を持つことができるようになるなど多くのよい変化が起きました。

今後は日本語のレベルアップをし、他の外国語も勉強して色々な経験をしてみたいと思います。

熱中症にご用心！

今年は早い時期から暑さが厳しいですね。

高齢になると、喉の渇きや暑さを感じにくくなる傾向があります。喉が渴いたら脱水症状を起こしかけているサインです。こまめな水分補給を心がけましょう。室内にいる時も上手にエアコンを使用して快適な環境で過ごすことが重要です。

品川区では高齢者の熱中症対策として、各在宅介護支援センターで飲料水、経口補水ゼリー等の準備をしております。高齢者のお体に熱中症、脱水等の症状がみられた際には、お近くの在宅介護支援センターまたは担当ケアマネジャーにお声かけ下さい。また、区内の地域センターやゆうゆうプラザでは、避暑シェルターを開設しています。

